

1. 投稿資格

投稿資格については、corresponding authorは原則として日本膜学会会員であることとする。corresponding authorが外国の機関に所属する非会員の場合、および日本人非会員で会員の紹介がある場合、編集委員会で審議し特例としてこれを認める場合がある。

2. 投稿原稿の採否

投稿原稿の採否は、編集委員もしくは他の適当な審査員による審査を経て編集委員会で決定する。

3. 著作権

3.1. 著作権の譲渡

「膜」誌に掲載された論文の著作権（既存の、もしくは将来発明・開発されるすべての媒体・手段によって公表・公開する権利ならびに翻訳権を含む）は、日本膜学会に帰属する。投稿者は、その著作権の日本膜学会への移転を了承し、著作権譲渡同意書を投稿時に日本膜学会に提出する。著作権譲渡同意書は学会ホームページ (http://www.maku-jp.org/copyright_J.pdf) からダウンロード下さい。なお、外部から「膜」誌に掲載された図表の転載の申請があった時は、編集委員会において検討のうえ許可することがある。転載希望者は所定の転載許可申請書を日本膜学会事務局に提出するものとする。転載許可申請書は学会ホームページ (<http://www.maku-jp.org>) からダウンロードまたは事務局にご請求下さい。

3.2. 他誌からの転載

他誌などに掲載済みの自身あるいは他者の図表を「膜」誌に使用する場合は、執筆者の責任において当該の雑誌から転載許可を得ておく。

4. 論文の種類と様式

論文は原著論文、技術報文、短報、速報、および総説、解説、講演録、製品と技術のいずれかとする。ただし、総説、解説、講演録、製品と技術は編集委員会からの執筆依頼による。

4.1. 原著論文

- 1) 膜に関する独自性のある他誌に発表されていない論文。
- 2) 原稿の様式は、標題、英文要旨、本文、記号説明、文献、表、図、写真を含めて400字/枚の原稿用紙に換算して24枚以内とする。表、図、写真はそれぞれ1つを原稿用紙1枚として換算する。（刷り上り8ページ以内）

4.2. 技術報文

- 1) 膜ならびに膜の応用に関する技術的なデータ、考察あるいは改良などを内容とし、新しくかつ工学的に価値ある結論、あるいは事実を含む論文。
- 2) 原稿の様式は原著論文に準ずる。

4.3. 短報

- 1) 新しい事実や価値あるデータを含む短い論文。
- 2) 原稿の様式は標題、英文要旨、本文、記号説明、文献、表、図、写真を含めて400字/枚の原稿用紙に換算して18枚以内とする。表、図、写真については原著論文と同様に換算する。（刷り上り6ページ以内）

4.4. 速報

- 1) 膜に関する研究で特に顕著な結果が得られ、速やかに発表する必要がある論文。
- 2) 原稿の様式は、標題、英文要旨、本文、記号説明、文献、表、図、写真を含めて400字/枚の原稿用紙に換算して12枚以内とする。表、図、写真については原著論文と同様に換算する。（刷り上り4ページ以内）

4.5. 総説、解説、講演録、製品と技術については、編集委員会より具体的に指示する。

5. 原稿の書き方

5.1. 論文題目、著者名

原稿の最初に論文題目、著者名、研究の行われた場所

（機関名と所在地）、ならびにそれらの英文を記す。ただし英文著者名はフル表示とし、イニシャルは用いない。

5.2. 本文

本文は、文書作成ソフトウェア（原則 Microsoft Word）で電子ファイルとして作成する。

体裁は、A4サイズで800字程度のダブルスペースとする。章、節、項にはそれぞれ1., 1.1., 1.1.1.の見出しをつける。

5.3. 表、図、写真

- 1) 図は明瞭で、そのまま製版できるように作成する。
- 2) 写真は鮮明なものを使う。ただし、膜誌でカラー写真として掲載を希望する場合には、著者は実費を負担する。
- 3) 表、図には英文を用いる。また、表、図、写真の標題も英文とし、図、写真については必ず別のページに一括記載する。
- 4) 引用の場合は原著者の承諾を得、標題中に出所を明記する。

5.4. 記号

添字にさらに添字をつけてはならない。

5.5. 文献

引用文献は本文中に1) あるいは5~8) の書式で番号を指示し、肩付きで番号を指定する。本文末尾に引用順にすべての文献をまとめるが、その記載形式は次例による。

- 和文雑誌 1) 炭田康史, 宮嶋孝一郎: *Membrane*, **25**, 257-263 (2000)
- 2) 中垣正幸, 宮田堅司: 薬学雑誌, **93**, 1105-1111 (1973)
- 和文書籍 3) 木村尚史, 大矢晴彦, 中尾真一, 仲川勤: 「膜学実験シリーズ人工膜編」, 日本膜学会編, p.19-23, 共立出版 (1993)
- 英文雑誌 8) Bartlett M, Bird MR, Howell JA: *J. Membr. Sci.*, **105**, 147-157 (1995)
- 英文書籍 9) Barrer RM: “*Diffusion in Polymers*”, Crank J, Park GS ed., Chap. 6, Academic Press, London (1968)

5.6. 英文要旨

原著には200語程度の英文のsummaryならびに5語以内の英語のkey wordsをつける。速報には50語以内の英文のsummaryならびに5語以内の英語のkey wordsをつける。key word間は/で区切る。

6. 著者校正ならびに別刷

著者校正は再校をもって校了とする。別刷はPDFファイルをメールにて送信する。印刷物の別刷希望は別途実費製作とする。

7. 原稿の提出

投稿方法は、原則としてメールとしファイル（WordとPDFの両者）を添付するものとする。紙面原稿の場合は、正副3部およびそのファイル（WordとPDF）をインストールしたディスクを郵送するものとする。なお、投稿原稿の電子ファイルはWindowsあるいはMacintosh OS上で作成したものに限り、刷り上り頁の確認のために、templateファイルを用いた原稿作成が望ましい。templateファイルが必要な場合は、ホームページからダウンロード (http://www.maku-jp.org/template_Maku.doc) されたい。掲載済みの原稿は、返却しない。

送付先: 〒113-0033 東京都文京区本郷5-26-5-702

日本膜学会事務局内

日本膜学会膜編集委員会

phone & fax: 03-3815-2818

電子メール: membrane@mua.biglobe.ne.jp